

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ 月 日 曜日）

初めての山

八幡小学校 六年 安藤 維月

「うわあ。たかいなあ。」

屋久島に来てから初めての山登りに行きました。初めてのちよう戦だったので、みんなが登りやすいと教えてくれる白谷雲水きようからの太鼓岩を目指すことにしました。

白谷雲水きようの入り口の川の水の勢いは少しゆるやかでした。今年は雨があまり降っていないので、水の量が少ないのかなと思います

ました。

さあ、登り始めます。最初の階段から急できついと感じました。階段が終わると少し揺れる橋です。橋が終わると歩きにくい道になりました。

根っこが出ていたり、石が突き出ていたりしました。時々足がひっかかってしまいました。転びそうにもありました。しかも道ははが細いのでゆっくり歩きました。がけのようなところを歩く場所も、何度もありました。足をすべらせてしまわないか、落

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

（不許複製）



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

ちてしまわないかと、不安になりながらしん
ちように進みました。途中に川がありました。
石の上をとびこえていきました。水をさわつ
てみると、とても冷たく気持ちよかったです。
進む道のりには、こけが生えているので
ふまないように足元を見ながら進みました。
石は、すべりやすいので、すぐく気をつけま
した。足もだんだんと痛くなってきました。
こけむす森に着きました。あたり一面に光
っているこけが広がっていて、すぐくきれい

でした。緑がきらきらしていました。進んで
いくにつれて、のぼりが急になっているよう
に感じました。大きな岩や階段をこえていき
ます。足場も今までよりも不安定です。上を
見ると木の中に少し青空が見え始めました。
一米上が近いかとも思い、少し力が出ました。
空がひらけました。大きな岩が目の前に現
れました。ついに大鼓岩です。岩の上から見
た景色は、大鼓岩の下の方の山や川、遠くの
山などが見れてとてもきれいでした。白色の

No. 2

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

20×20



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

No. 3

雨^{あめ}み^みたい^{たい}なの^のが^がた^たく^くさ^さん^んあ^あり^りま^まし^した^た。で^でも^も、
少^少し^しし^した^たら^ら消^消え^えて^てい^いき^き不^不思^思議^議で^でし^した^た。景^景色^色が^が
ど^どん^んど^どん^ん変^変わ^わっ^って^てい^いき^きま^まし^した^た。き^きつ^つい^いけ^けど^どが^が
ん^んは^はつ^つて^て上^上っ^って^て初^初め^めて^て見^見た^た景^景色^色だ^だつ^つた^たの^ので^で、
と^とて^ても^もき^きれ^れい^いに^に見^見え^え、感^感動^動し^しま^まし^した^た。ほ^ほか^かの^の
山^山か^から^らの^の景^景色^色は^はど^どん^んな^なだ^だら^らう^うと^と思^思い^いま^まし^した^た。
帰^帰り^りに^には^は、天^天然^然の^の水^水を^をく^くん^んで^で飲^飲み^みま^まし^した^た。と^と
て^ても^も冷^冷た^たか^かつ^つた^たの^ので^で、お^おい^いし^しか^かつ^つた^たで^です^す。お^お
り^りる^ると^とき^きに^に雨^雨が^が降^降つ^つた^たの^ので^で、石^石や^やこ^こけ^けで^です^すべ^べ
ら^らな^ない^いよ^よう^うに^にと^とゆ^ゆつ^つく^くり^りゆ^ゆつ^つく^くり^り横^横向^向き^きに^にな^な
つ^つて^てし^しん^ん重^重に^に下^下っ^って^てい^いき^きま^まし^した^た。途^途中^中何^何度^度か^か
す^すべ^すり^りそ^そう^うに^にな^なつ^つた^たけ^けれ^れど^ど、ド^ドキ^キド^ドキ^キし^しな^なが^が
ら^ら何^何と^とか^か下^下る^るこ^こと^とが^がで^でき^きま^まし^した^た。誰^誰も^もけ^けか^かを^を
せ^せず^ず、無^無事^事に^に登^登山^山を^を終^終え^える^るこ^こと^とが^がで^でき^きま^まし^した^た。
太^太鼓^鼓岩^岩ま^まで^での^の道^道の^のり^りは^は、長^長く^くて^て、す^すご^ごく^く疲^疲
れ^れま^まし^した^た。で^です^すが^が、屋^屋久^久島^島の^の山^山、川^川、き^きれ^れい^い
な^な景^景色^色、雨^雨を^を経^経験^験で^でき^きた^たす^すば^すら^らしい^い体^体験^験と^とな^な
り^りま^まし^した^た。次^次は^は、ど^どの^の場^場所^所に^に行^行こ^こう^うか^か考^考え^え中^中
で^です^す。

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

